

経営比較分析表（平成30年度決算）

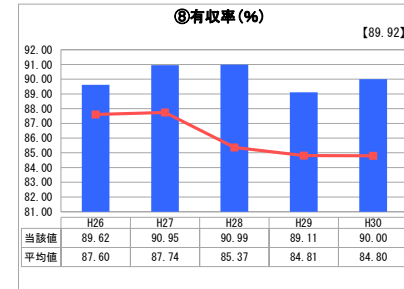
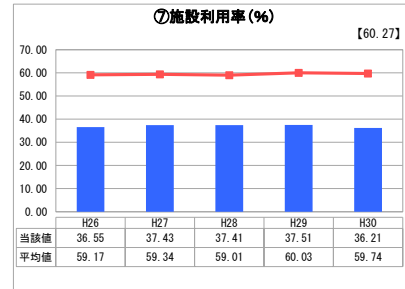
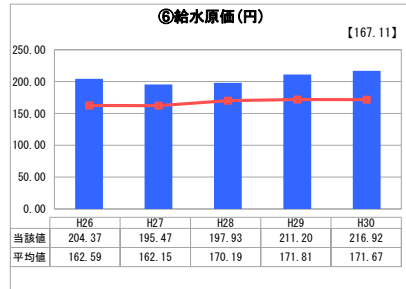
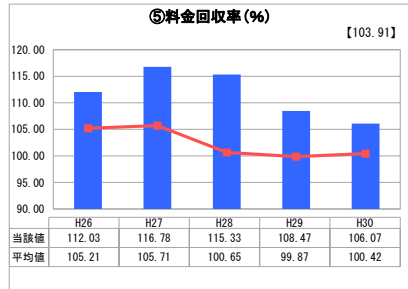
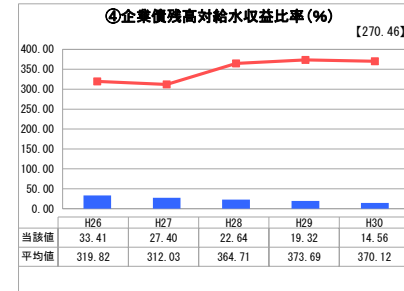
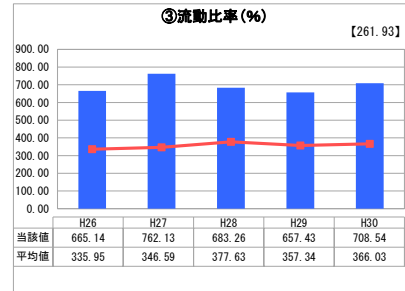
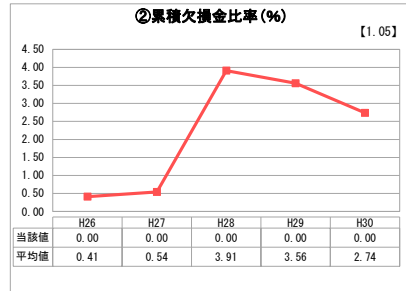
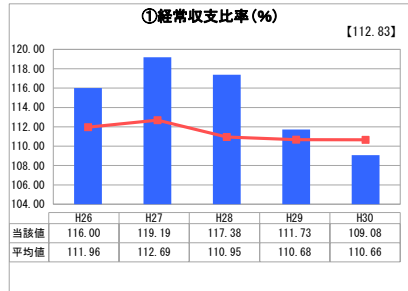
岡山県 笠岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	93.72	98.86	4,190	

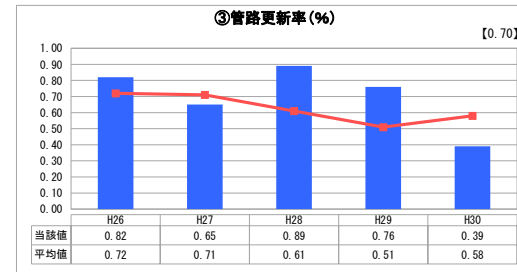
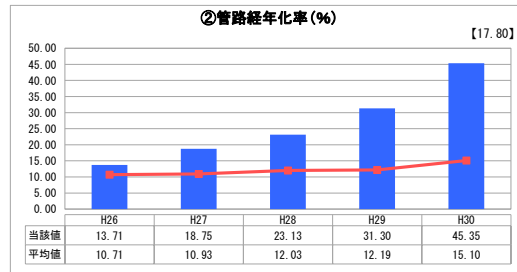
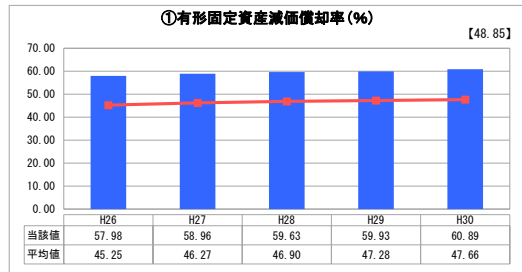
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
48,712	136.24	357.55
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
47,853	136.24	351.24

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「経常収支比率」
100%を上回っており黒字となっていますが、平成30年度は、給水収益の減少により前年度より減少しています。

「累積欠損金比率」
累積欠損金は、平成23年度以降はありません。

「流動比率」
類似団体平均値を大きく上回っており、1年以内に支払うべき債務に対する支払能力が十分にありません。

「企業債残高対給水収益比率」
企業債の新たな借入れがなく、企業債の償還が順調に進んでいます。

「料金回収率」
類似団体平均値を上回っていますが、近年は給水収益の減少により、減少の傾向にあります。

「給水原価」
当市は、水源が遠く、また、島しよ部を含む市内全域に給水しているため、多くの費用が必要で、類似団体平均値を上回っています。平成30年度は、有収水量が減少したため、前年度より増加しています。

「施設利用率」
給水人口の減少が続いて配水量が増えず、類似団体平均値より低くなっています。

「有収率」
類似団体平均値を上回っています。近年は漏水事故が増加傾向にありますが、平成30年度は、前年度と比べて改善しました。

2. 老朽化の状況について

「有形固定資産減価償却率」
類似団体平均値を上回っており、施設の老朽化が進んでいる状況です。

「管路経年化率」
過去に集中して整備した管路が、法定耐用年数を迎える時期に入ったため、ここ数年で急増しています。管路の経年化が急速に進んでおり、類似団体平均値を大きく上回る状況になっています。

「管路更新率」
平成30年度は、前年度より更新した管路の長さが短かったため、前年度より管路更新率が低くなっています。

全体総括

健全な経営状態を維持していますが、近年は、人口減少に伴い給水収益が減少傾向にあるほか、漏水事故に伴う修繕費用が増加していることにより、経常収支比率や料金回収率などの指標が悪化しています。

また、法定耐用年数を超えた管路がここ数年で急増しています。平成29年度に策定した水道施設の中期更新計画に沿って、平成31年度より計画的・効率的に水道施設の更新を進めていきます。

当市水道事業の基本計画である笠岡市水道事業ビジョン（平成29年度策定）に続き、経営の基本計画となる経営戦略を令和2年度までに策定し、今後も健全な経営状態が維持できるよう計画的に取組みます。